

学校運営協議会 議事録

校名	府立豊島高等学校
校長名	浦山 聖

開催日時	令和5年2月17日(金) 15:00～17:00
開催場所	府立豊島高等学校1階 校長室
出席者(委員)	家島会長、島本委員、安藤委員、大石委員、村井委員、東前委員
出席者(学校)	浦山校長、坂口教頭、藤井事務長、田中首席、井伊教諭、池尾教諭
傍聴者	なし
協議資料	授業アンケート結果、学校教育自己診断結果、令和4年度学校評価、令和5年度学校経営計画、他
備考	なし

議題等(次第順)

- ① 令和4年度授業アンケートの結果について
- ② 令和4年度学校教育自己診断の結果について
- ③ 令和4年度学校評価(案)について
- ④ 令和5年度学校経営計画(案)について
- ⑤ 防犯カメラの設置について
- ⑥ 令和4年度新型コロナウイルス感染症の感染状況について
- ⑦ その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- ①について
- オンラインでアンケートをやることで回収率を100%に近づけられ集計の手間も減るので、方法としては良いのではないかと。
 - 座学と実技で比較できれば、生徒本人が把握できるので、よいのではないかと。両方を一緒にしてしまうと何も見えなくなってしまう可能性がある。
 - 自由記述は例えばテキストマイニング機能を使えば内容の分析が簡易にできるので、教員の負担を増やさないと、生徒が書いた内容を無駄にしないことを両立して行ってほしい。
 - 生徒は自分の意見を先生は聞いてくれると伝わるんだ、声を上げることに意味があるのだという自己肯定感になるので、フィードバックは先生方から回答してくれた生徒たちに対してどのような形で返して欲しい。回答者がきちんと回答しようというモチベーションにも関わってくる。
 - 回答しても改善されていないことがあるという声を聞くので、言ったことが伝わっていることを教員が生徒たちに対して「ありがとう」の一言でもいいので、返していくことが大切なことである。
 - 自由記述を書くということは生徒が改善等を期待して書いている。
- ②について
- 教員の回答率が下がったところが気になっている。原因の解明をしていただきたい。
 - 白紙の回答をした枚数を知りたい。
 - 自由記述部分の内容を公表するべきではないか。
 - 生徒は一生懸命回答している印象を受ける一方、教員は面倒なことや言ってくるなという印象を受ける。
 - アンケート内容が曖昧なものがあり、意識を聞いているものもあれば、行動を聞いているものもあれば、頻度を聞いているものもあつたりして、質問の捉え方によって結果の見方がかわるところもあるので、一喜一憂しなくてよい。
 - 教員のアンケート結果で、研修体制が充実しているかどうか40%代なので、先生同士で情報共有できる機会があってもいいと思った。
 - 防災や安全管理についても数値が下がってきているので、具体的に踏み込んで改善に向けた取り組みをしたほうが良い。
 - 掃除に関する数値が50%前後を推移している。日頃から清潔感はとっても重要なので、改善したほうが良い。
 - トルコの地震のこともあるので、学校の中で安全な場所と危険な場所がそれぞれどこであるかを共有しておいたほうが良い。
 - 質問項目ごとに満足度・意識・経験・学校への評価を分類しておくとうりやすい。
 - 防災に関して豊中市との関係があるのか。→本校は避難所となっている。
 - 災害があったときの本校に備蓄はされているか。→生徒・教員分ともに備蓄している。

③について

「わかる授業・課題解決型の授業の創造」の項目で、2学期になってからの生徒の授業評価の数値が授業によって低下することについて、校長より「授業が進むにつれて難易度が上がることが原因と考えられる」との説明があった。最終的に承認された。

④について

○総合的な探究の時間で行う内容は、小学校、中学校等で行っている職場体験の高校版のようなイメージなのか→来年度の1・2年生で行う内容は企業の方に年に数回来てもらい、アドバイスをしてもらいながら、生徒は企業の課題を社員になったつもりで解決していくプロセスを学び、最終的にプレゼンテーションを行うものとした。

○生徒は明るく素直で可能性を感じるので、穴埋めのプリントもいい面はあるが、「思考力を養う」観点からも「総合的な探究の時間」で、生徒が深く興味を持ち、課題解決の方策を協働してつくりあげ、周囲にプレゼンテーションすることに繋げてもらいたい。

○今回「わかる授業」が外されているのは乗り越えたということか。→その通りであり、一步先に進み、覚えるだけにとどまらず、考えた結果、価値を生み出すことを目標にしている。

○「総合的な探究の時間」を通して興味を引き出し、思考力の育成に繋げていただきたい。教員にとってもチャレンジとなる。

○現在は自ら主体的に発想力と発信力を持って前に進んでいくことが中学校の新しい学習指導要領で示されており、中学校では確立してきている。それが高校での取り組みに結びついていくと考える。

○授業のライブ配信やオンデマンド配信はどの程度行っているのか→コロナ関連の出席停止者が出た場合には、授業のオンライン配信を行っている。

○オンデマンド配信やYouTubeなどを活用することで、生徒の理解度に応じて効率的に授業を進めていただきたい。

○数値目標があればリフレクションがしやすくPDCAサイクルを回しやすいので、うまく活用して、教員が立ち止まって振り返って考える余裕をもって本質的なところに向かってほしい。

以上の意見をいただきつつ、承認された。

⑤について

対応が必要な事案が複数あったので、設置の方向である。

大学でも1年生がいる部屋ではカメラが設置されている。

⑥について

○コロナが落ち着いてきているが、良かった部分は引き続き継続しつつ、失ったものは取り戻していくというマインドで、これからは進めていただきたい。

⑦その他

○部活動の時間制限が休日・平日問わず中学校で行われて来ているが、高校ではどうなっているか→大阪府の働き方改革の中で、高校での部活動のあり方についても教師の負担を減らす方向で進んでいるが、まだまだ解決すべき課題はある。

○意見書について:特に意見は届いていない。

日時

令和5年6月を予定

会場

府立豊島高等学校1階 校長室(予定)